

第7 資料編

1 参考とした資料や文献

(1) 厚生労働省関係

- ア 快適で健康的な住宅に関する検討会議報告書について：
厚生省生活衛生局企画課，H10.8.5
<http://www1.mhlw.go.jp/shingi/s9808/s0805-1.html>
- イ シックハウス（室内空気汚染）問題に関する検討会
中間報告書－第1回～第9回のまとめ等：厚生省生活衛生局企画課
<http://www.nihs.go.jp/mhlw/chemical/situnai/kentoukai.html>
- ウ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律関連政省令の一部改正について：
厚生労働省健康局生活衛生課，H14.12.26
<http://www.mhlw.go.jp/topics/2002/12/tp1218-2.html>
- エ 室内空気質健康影響研究会報告書
－シックハウス症候群に関する医学的知見の整理の公表について－：
厚生労働省健康局生活衛生課，H16.2.27
<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2004/02/h0227-1.html>
- オ 化学物質の室内濃度指針値についてのQ&A：
厚生労働省医薬食品食審査管理課，H16.3.30
<http://www.nihs.go.jp/mhlw/chemical/situnai/shisingqa.pdf>
- カ 室内空気中化学物質についての相談マニュアル作成の手引き：
厚生労働省医薬局審査管理課化学物質安全対策室，H13.7.24（H14.2.8 追補）
<http://www.mhlw.go.jp/houdou/0107/h0724-1d.html>
<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2002/02/h0208-3.html>

(2) 環境省関係

- ア 自治体のための化学物質に関するリスクコミュニケーションマニュアルについて：
環境省総合環境政策局環境保健部環境安全課，H14.11.19
<http://www.env.go.jp/chemi/communication/index.html>
- イ 子どもの環境保健に関する8ヶ国の環境リーダーの宣言（1997）（環境省仮訳）：
http://www.env.go.jp/earth/g8_2000/outline/1997.html

(3) 文部科学省関係

- ア 学校環境衛生基準： 文部科学省告示（H21.4.1 施行）
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/19/07/07071701/001.htm
- イ 健康的な学習環境を確保するために：
～有害な化学物質の室内濃度低減に向けて～：
文部科学省大臣官房文教施設部施設企画課，H14.2
http://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/shuppan/020601.htm
- ウ 学校環境衛生管理マニュアル「学校環境衛生基準」の理論と実践：
文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課，H22.4
http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1292482.htm

(4) 国土交通省関係

ア 改正建築基準法に基づくシックハウス対策について：

国土交通省住宅局

<http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/sick.html>

イ シックハウス対策のための環境 JIS の制定・改正：

－試験方法（小型チャンバー法）及び建材関連 JIS－

経済産業省産業技術環境局標準課，H15.1.20

<http://www.meti.go.jp/kohosys/press/0003578/0/030120chamber.htm>

(5) 都道府県関係

ア 化学物質の子どもガイドライン（室内空気編）：

東京都保健福祉局，H17.2.2

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kanho/indoor/child/index.html>

イ 県立学校のシックスクール問題対応マニュアル：

埼玉県教育局生涯学習部健康教育課，H15.3

<http://www.pref.saitama.lg.jp/A20/BT00/top/sick%20school%20manual.pdf>

(6) その他

ア 室内空気の評価法及び健康影響の予測法の開発に関する研究：

（平成 13～15 年度）：田辺新一（主任研究者），H16.3

イ 子どもの健康と室内空气中化学物質対策：

内山巖雄，環境技術 Vol.33 No.10（2004）

ウ “Children’s health and environment”：

A review of evidence . A joint report from the European Environment Agency and the WHO Regional Office for Europe：

EEA, Denmark, Environmental issue report No 29（2002）

http://reports.eea.eu.int/environmental_issue_report_2002_29/en

エ “IARC CLASSIFIES FORMALDEHYDE AS CARCINOGENIC TO HUMANS”：

International Agency for Research on Cancer, Press release N° 153, 15 June 2004

http://www.iarc.fr/ENG/Press_Releases/pr153a.html

オ シックハウス相談回答マニュアル 2004 年：

財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター，H16.3

<http://www.skkm.org/soudan/>